

ジュニア賞

# 目指せ！イクメン！ ～父親が母親への声掛けやサポート法を 学べるシュミレーションゲーム～

原田 馨子（高校3年生：神奈川県）

最近聞くようになった「イクメン」という言葉。女性の社会進出が進んでいる現代において男性にも育児が要求されるようになった。しかし、「せっかく手伝ったのに妻に怒られた」、「どんな手伝いをしたら妻が喜ぶかわからない」という悩みがあるようだ。このようにイクメンになりたいけれど、どうするべきかわからない男性のためにこのゲームを提案する。このゲームは、ゲームアプリにおいてVR（仮想現実）として、主人公が結婚し、妻が妊娠したところから始まる。妊娠中や育児中の妻にどのような声掛けや手伝いをするのか三つの選択肢から選ぶことが出来る。正しい選択肢を選べば「Good Communication!」となり、妻が喜んでくれる。逆に間違った選択肢を選べば「Bad Communication…」となり、妻を怒らせてしまう。妻を沢山喜ばせると、妻がどんどん綺麗になっていく一方、怒らせると老いていく。妻を綺麗にするのは、プレイヤーの声掛けなのだ。このゲームは子供が大学生になり、独り立ちした時点で、すべてをクリアしたとみなす。つまり、育児中だけでなく、妊娠中の妻への声掛けやサポートも学ぶことができ、さらに思春期の子どもに対する声掛けや接し方も学ぶことが出来る。また、子供の性別や数、妻が専業主婦なのか、共働きなのかも設定することが出来るためよりリアルなシュミレーションをすることが可能だ。さらに、プレイヤー同士はフレンド申請を行うことで「パパ友」になることが出来る。そこで、実際の自分の悩みを相談したり、質問することで、先輩パパのアドバイスがもらえるのだ。父親同士の繋がりの場ができることは安心感にもつながるだろう。このゲームを通じて男性が適切な声掛けやサポートをすることで、妊娠中や育児中の女性の負担を減らし、より子育てがしやすい環境になることを望む。